

テーマ「津別町をどんな街にしたいか」

「班テーマ」

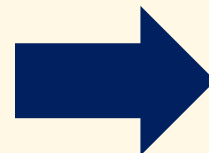
みんなのふるさと
～遡上する鮭の如く～

「理想」

- ① 皆が故郷と想える町にしたい。
- ② 安心する町にしたい。
- ③ Uターン、Iターンしたくなる町にしたい。

「KJ法」

- ① 生活
- ② 人
- ③ モノづくり



より具体的に

具体的な施策（津別に住んでもらう）

STEP①観光滞在型

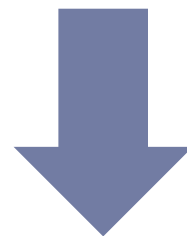


長期滞在型コテージ
（例：網走/テントランド）



図1：網走：テントランド

STEP②仮移住者型



お試し住宅整備
（現在、津別町にも数カ所整備）



図2：お試し住宅

STEP③移住者型

中心市街地の空き家提供（家庭菜園ができる庭付き）
不動産サポートによる仲介（主体：地域おこし協力隊等）



具体的な施策（移住者に根付いてもらう）

STEP①地域コーディネータのフォロー

（商工観光GP、地域おこし協力隊）

地域独特な気候・風土に慣れるためのフォロー



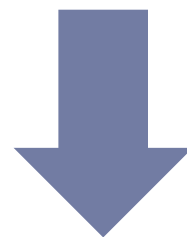
STEP②町内のイベントへの参加

若手世代 : 青年PJ<and>

ものそと研究所<河本農場>

シニア世代: そば打ち、クラブ活動(着物や囲碁)

町民農場(若手とシニアのコラボ)



STEP③主体的に活動してもらう

津別町の魅力を移住者自身の体験を主体的に外部へPRしていただき、さらなる移住者増加を目標とする



図3: andの活動



図4: ものそと研究所活動

具体的な施策（津別町内で働いてもらう）

STEP①企業努力

民間企業自身も雇用を行うように努める。
町内に住んで通勤している方には
「地域手当」等支給する。

企業側のメリット

- 1、大雪などの交通マヒなどへの対策。
- 2、緊急対応など対応できる。
- 3、通勤手当の削減

企業側のデメリット

- 1、人材確保の難しさ
- 2、現状の住む場所の少なさ

STEP②津別町内企業への優遇

従業員数の内、何%かが町内に住んでいる場合、
減税優遇等の後押し。

STEP③津別町内の企業が元気になる

業績が上がると更に雇用が必要となり、更なる事業拡大となり、
町全体が更に元気になる。



